

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2025年 2月 1日

事業所名: なないろ・ぽの

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	100%			スペースを広く取り、動線の工夫をして事故のないように注意している。	100%				広いスペースがある。
	2 職員の適切な配置	43%	57%		法制に乗っ取り適切な配置をし、個別サポートが必要な児童の利用日には多めに配置を心がける。	86%			14%	いつも特性を気にかけてくれている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	100%			児童に分かりやすいように構造化をしている。	95%			5%	部屋が用途別で区切られているので、それぞれが活動しやすいと思う。視覚的に見て分かりやすい工夫がある。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100%			毎日の清掃と整理、消毒の習慣化。	100%				クールダウンできる部屋もあるのでとてもいいと思う。いつもきれいで心地いい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	71%	29%		行事計画を立て、毎回振り返りを行う。					
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	43%	57%		自己評価以外しっかりとした外部評価が組み込まれていない。					
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	29%	71%		資格取得を奨励している。					
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	71%	29%		今回からWEB上で公開する予定。	95%			5%	今日はこんな事をしたとか、事細かく教えてくれるので、とても分かりやすい。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	71%	29%		支援スタッフとのミーティングを強化する。	100%				
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	71%	29%		国の指針に沿って5領域をはじめ項目を再設定した。	100%				
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100%			国の指針に沿って5領域をはじめ項目を再設定した。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
適切な支援の提供（続き）	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	71%	29%		個別の支援スケジュールの実施	100%				計画に沿った支援プラスその日の状態に対応してくれている。	
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	71%	29%		毎日、昼礼と終礼時に意見交換をする。						
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	86%	14%		月単位ですべてのレクリエーションの内容が重複しないように調整している。	95%	5%				色々な活動やイベントが準備されていて、子どもも毎日楽しめていると思う。
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	100%			日程に応じた個別プログラムの内容修正を行っている。長時間利用の場合、外出・体験をメインにしている。						
	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100%			毎日の昼礼の実施で確認。						
	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	86%	14%		その日の出来事や保護者連絡を欠かさず共有している。						
	11	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	86%	14%		児童活動日誌をメインに記録。						
	12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	57%	43%		年2回のモニタリング、計画更新の実施。具体的な利用者の要望をしっかりとヒアリングする。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	71%	29%						
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	43%	57%						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	43%	57%						
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	71%	29%						
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	43%	57%						
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	57%	43%						
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	14%	86%		24%	24%	52%	もっと機会を設けてほしい。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	43%	43%	14%					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	71%	29%		明細の配布を行っている。	95%	5%			
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	86%	14%		モニタリング時に同意をいただいている。	100%				
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	71%	29%		計画段階で、まだ未実施だが、連絡ツール上でのアドバイスのやりとりは行っている。	48%	14%	10%	28%	ペアレント・トレーニングがよくわからない。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100%			連絡帳や送迎時、モニタリング等で話しをしたり、アドバイスを行っている。	95%			5%	デイでの活動の様子をきちんと教えてくれているのでありがたい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	86%	14%		連絡帳や送迎時、モニタリング等で話しをしたり、アドバイスを行っている。	21%			79%	定期的な面接があり、話し合えることができる。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	29%	71%		父母の会、保護者会ともに発足していない状況。	10%	10%	33%	47%	忙しくて対応できていない。機会も少ない。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	71%	29%		連絡帳とLINEを利用し、迅速に分かりやすく連絡をとるよう努力している。	71%			29%	しっかりと説明してくれていると思う。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	86%	14%		連絡帳とLINEを利用し、迅速に分かりやすく連絡をとるよう努力している。	100%				連絡帳のやりとりをLINEかアプリでできるようになると助かる。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	57%	43%		毎月レクリエーションと行事のカレンダーを作成し各家庭に配布している。	81%	5%		14%	毎月活動内容を一覧表にして配布してくれるので、とても分かりやすい。こどもが予定表を見て「これしたい！」と言う。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100%			誓約書を作成し、内容に沿って対応している。	95%			5%	充分してくれている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	86%	14%		各マニュアルを作成済み。	90%		5%	5%	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	86%	14%		年4回の実施と、ニュースや報道に沿って臨時に学習や訓練を実施する。	90%			10%	避難訓練や紙芝居、動画等で災害時の訓練をしてもらっていて安心しています。
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	71%	29%		指定児童に対する確認は行っているが、専門的な医療スタッフ不在の為対応レベルが低い。	100%				ヒアリングをしっかりと対応してくれている。
	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	57%	43%		保護者からの聞き取り程度にとどまっている。					
	5 安全管理の徹底	71%	29%		安全計画の作成・実施。	76%	5%		19%	
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	71%	29%		連絡帳やLINEでの連絡。	80%	10%		10%	
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	43%	57%		ヒヤリハットの実例がほぼ無いため、苦慮している。					
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	57%	43%		虐待防止委員会をメインに定期的な学習会の実施。					
	9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	71%	29%		マニュアル及び各書類を準備している。					